

予 防 接 種

◆定期予防接種（無料・公費）

予防接種の種類	対 象 者	実施場所
BCG	生後12か月未満の乳児。対象となるかたに個別に通知します。	保健センター
ロタウイルス	生後6週以降の乳児。4週以上の間隔をおいて2回または3回。	指定医療機関
B型肝炎	生後12か月未満の乳児。標準接種期間は生後2～9か月未満。27日以上の間隔をおいて2回。1回目の接種から139日（20週）以上の間隔をおいて3回目。	
ヒブ	生後2～60か月未満の乳幼児。標準的な接種開始月齢は生後2～7か月未満。 ※接種開始月齢により接種回数が異なります。	
小児用肺炎球菌	生後2～60か月未満の乳幼児。標準的な接種開始月齢は生後2～7か月未満。 ※接種開始月齢により接種回数が異なります。	
四種混合 （ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）	生後3～90か月の乳幼児。1期初回は3～8週間隔で3回接種し、その後12～18か月の間に1期追加を接種します。	
五種混合 （ヒブ・ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）	生後3～90か月の乳幼児。1期初回は3～8週間隔で3回接種し、その後12～18か月の間に1期追加を接種します。	
麻しん・風しん混合	第1期：生後12～24か月の幼児 第2期：就学前の1年間	
水痘	生後12～36か月の幼児 ※標準接種時期 1回目：生後12～15か月に至るまで 2回目：1回目接種後6～12か月後	
日本脳炎	生後6～90か月未満の乳幼児。標準的な接種年齢は3歳。1期初回は1～4週間間隔で2回接種し、その後概ね1年後に1期追加を接種します。2期は9歳～13歳未満	
二種混合 （ジフテリア・破傷風）	11歳以上13歳未満。	
ヒトパピローマウイルス感染症	小6～高1相当の年齢の女子のかた。 （接種開始年齢により接種回数が異なります）	

◆任意予防接種（全額・一部助成）

予防接種の種類	対 象 者	実施場所
おたふくかぜ ワクチン	未就学児（一部助成）	指定 医療 機関
インフルエンザ ワクチン	6か月～中学2年生まで（一部助成） 中学3年生（全額助成） 妊婦（全額助成）	

予防接種は感染症の流行を防ぐとともに、予防接種を受けた本人が病気にかからないよう（かかっても重くならないよう）にする役割を持っています。予防接種を受けるときは病気の特徴や予防接種の効果、副作用について正しい知識を持つことが大切です。



◆乳幼児予防接種指定医療機関【令和5年度】

種 類 医療機関	ロ タ ウ イ ル ス	B 型 肝 炎	ヒ ブ	小 児 用 肺 炎 球 菌	四 種 混 合	麻 し ん 風 し ん	水 痘	日 本 脳 炎	予約上の注意
さくら小児科医院 ☎0224-51-5355	○	○	○	○	○	○	○	○	要予約
みやぎ県南中核病院 ☎0224-51-5500	○	○	○	○	○	○	○	○	(月～金) 電話予約 8:30～16:00
日下内科医院 ☎0224-52-1058	×	×	×	×	○	○	○	○	要予約
甘糟医院 ☎0224-53-1460	×	×	△	△	○	○	○	○	3日前まで予約 5分前まで来院 ※△は1歳以上
かわち医院 ☎0224-52-3115	×	×	○	○	○	○	○	×	電話予約 11:30～12:30 16:00～17:00

※令和6年度以降は変更となる場合があります。

上記以外のかかりつけ医での接種を希望する場合はお問い合わせください。



健康推進課 ☎0224-51-8623

「もしも」の備え、していますか？

もし、災害などが起きて避難することになった場合、避難所では、妊産婦さんやお子さんに必要なものが手に入らないことがあります。使い慣れたものを各自で準備しておくことが大切です。

非常用の持ち出し物品を、以下のリストを参考にして最低限3日分、できれば1週間分を目安に用意しておくとう安心です。

妊産婦・乳幼児向け非常用持ち出し袋リスト	
☐ 母子健康手帳	☐ 哺乳瓶
☐ 保険証	☐ 離乳食
☐ 乳幼児医療受給者証	☐ 飲料水
☐ 常備薬	☐ スプーンやストロー
☐ おくすり手帳	☐ 紙おむつ
☐ 生理用品	☐ おしりふき
☐ ウエットティッシュ	☐ 肌着
☐ 授乳ケープ	☐ だっこひも
☐ ミルク（粉・液体）	☐ お気に入りのおもちゃ

母子健康手帳や保険証は、コピーを用意しておくとういでしょう。哺乳瓶は使い捨てのものだと消毒の手間が省けます。また、普段から液体ミルクに慣れさせるのもおすすめです。乳幼児のストレスを軽減できるようにお気に入りのおもちゃを1つだけでも持っていきましょう。

また、乳幼児向けの用品は、成長に合わせて必要なものが変わっていきます。定期的に見直し、更新していきましょう。